

<神戸港 平和の碑>の集い 2018

2008年7月21日、KCCビル前に<神戸港 平和の碑>が完成しました。アジア・太平洋戦争の時期に神戸港で強制労働を強いられた朝鮮人・中国人・連合国軍捕虜の歴史を刻んだものです。「神戸港における戦時下朝鮮人・中国人強制連行を調査する会」では、石碑建立以降、毎年4月に、<神戸港 平和の碑>の集いを開催することにしています。

石碑前での集会ののち、今年は、「明治産業革命遺産」と朝鮮人・中国人・連合国軍捕虜の強制労働」をテーマに勉強会を開きます。

2015年7月、ユネスコ世界遺産委員会が「明治日本の産業革命遺産—製鉄・製鋼、造船、石炭産業」を世界遺産に登録することを決定しました。これらの遺産には日本の侵略戦争、植民地支配、強制労働など記憶すべき「負の歴史」もあります。

ユネスコ世界遺産委員会は各施設の「歴史の全貌」が分かるようする「解釈戦略」をたてなければならないという勧告をしています。これを受け佐藤地ユネスコ日本大使は「1940年代にいくつかのサイトにおいて、その意志に反して連れてこられた多くの朝鮮半島出身者がいたこと、また、第二次世界大戦中に日本政府としても徴用政策を実施していたことについて理解できるような措置を講じる所存である」と発言しています。今後、日本政府は「負の歴史」も反映した情報発信をすることが求められています。

強制労働真相究明ネットワーク（共同代表、庵途由香・飛田雄一）が韓国の民族問題研究所とともにブックレット<「明治産業革命遺産」と強制労働>を発行し、映像版も発表されています。（真相究明ネット HP、<http://ksyc.jp/sinsou-net/>より閲覧可能）

<神戸港 平和の碑>の集い2018にふるってご参加ください。

<神戸港 平和の碑>の集い2018

日時：2018年4月14日（土）

1) 15:00～15:15 石碑前で小集会

2) 15:20～16:30 勉強会（参加費資料代500円）

テーマ：「明治産業革命遺産」と朝鮮人・中国人・連合国軍捕虜の強制労働

講 師：飛田雄一さん（強制労働真相究明ネットワーク共同代表）

会 場：KCCビル10階（華僑歴史博物館のあるのがKCCビルです）

兵庫県神戸市中央区海岸通3-1-1

3) 17:00～ 雅苑酒家（南京町）で懇親会

（参加費4000円、学生2000円）

●懇親会は事前申し込みが必要です。下記事務局まで、お願いします。

神戸港における戦時下朝鮮人・中国人強制連行を調査する会

代表 安井三吉／副代表 徐根植、林伯耀

事務局長 飛田雄一

<事務局>

〒657-0064 神戸市灘区山田町3-1-1

神戸学生青年センター内

TEL 078-851-2760 FAX 078-821-5878

e-mail hida@ksyc.jp <http://ksyc.jp/kobepo>/

